

つれもて

和歌山県看護連盟だより

2025年
新年を迎えて

CONTENTS

2～3	新年のごあいさつ
4～5	石田まさひろ「国政報告」
6～7	令和7年 新年交流会
8～9	つれもてインタビュー「谷 元会長」
10～11	活動報告
12	入会のご案内・編集後記

和歌山県看護連盟 <2025年1月発行>

和歌山市太田 4-11-18 リベラルパレス太田 501
TEL 073-488-6575・FAX 073-488-6580
発行責任者：川村 健太・表紙写真：matsu | 串本・荒船海岸の初日の出と朝霧



第78号



和歌山県看護連盟

会長 川村 健太

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては新年を健やかに迎えられたことと存じます。平素より看護連盟の活動に対してご理解と温かいご支援ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年、県会議員で構成される「看護を考える部会」の更なる強化のため規約を見直し、再結成をいたしました。託児所や病児保育、人員不足問題など現場で働く皆様の声を伝え、いくつも解決していただきました。今年も各議員との連携を図り、皆様が安心して働けるよう努めてまいります。

さて本年はいよいよ参議院選挙の年です。目の前の患者を助けるためには看護政策が重要です。その看護政策を中心となって実現に繋げるのが私たちの代表の国会議員たちです。昨年のような悔しい思いはもうしたくありません。逆風の中、私たち看護師のために日々奮闘してくれている代表を再び国政の場に送り出すために全力で駆け抜けたいと思っております。更なるご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとって、輝かしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



日本看護連盟

会長 高原 静子

新しい年が始まりました。

皆様に心より新春のお慶びを申し上げます。

看護職を取り巻く環境は日々変化し、厳しい状況が続いております。人々のいのちと暮らしを守るために活動する看護職、そして、多くの制約の中、地域社会で医療チームの一員として力を尽くしておられる看護職の皆様へ、深く敬意を表します。

医療・介護の現場では、技術の進化とともに患者様のニーズも多様化しており、それに応えるためには看護師一人ひとりの専門性とチームワークが不可欠です。

今年は「乙巳（きのとみ）の年です。「乙巳」の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられています。より良い医療環境の実現のために、現場で働く看護職の声をしっかり政治や社会に届け、必要な制度改革支援を進めていきたいと思います。

本年が皆様にとって、健康で実りの多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。今年もどうぞよろしくようお願い申し上げます。



公益社団法人 和歌山県看護協会

会長 東 直子

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より皆さまには、当協会事業活動にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、少子高齢化を迎えて看護職へのニーズはますます高まっており、またコロナ禍を経てライフスタイルの多様化が定着し働き方にも大きな影響を及ぼしていると考えます。いま、医療機関・在宅・介護・教育等あらゆる場で人材確保が困難な状況になっています。現場の課題解決や看護政策実現には、看護職のより一層の政治力と組織強化が求められます。そのためにも今年は重要な年となります。皆さまの一層のご支援を心よりお願い致します。

令和7年は「乙己（きのと・み）で再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年と言われています。物事を柔軟に考え看護職が誇りをもって生き生きと安全・安心して働き続けられる環境づくり、処遇改善に向けて、今年も看護連盟と看護協会と一緒に取り組んで参ります。

新しい年を迎え、皆さまにとって心穏やかで幸せな1年となりますことを心から祈念し、新年のご挨拶といたします。



衆議院議員・文部科学大臣
あべ 俊子

新年あけましておめでとうございます。今年も新しい年を迎えることができたこと、大変喜ばしく思います。

前回の衆議院総選挙では厳しいご審判をいただいた中、あべは第二次石破内閣において再度、文部科学大臣を拝命し、これまでに「誰も取り残さない」教育を掲げ、医療的ケア児対応や不登校の課題、過疎地における学校の存続問題、看護教育のあり方、地域に残る人材育成などに取り組むことができました。これも常日頃、みなさまからのご支援とご指導をいただいているお陰です。

かつてないスピードで世の中のあり方が変わり、不確実性や複雑性を増す時代において、人材育成のための教育は国の基（もと）と信じて、みなさまの声を聴かせていただき、日々努力してまいります。看護は、命を慈しみ、大切な人を護るための知識と技術が学べる素晴らしい仕事であると、次世代に胸を張って伝えられるよう看護職の地位向上や環境改善に皆様と共に全力で取り組んで参ります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



参議院議員
石田 まさひろ

和歌山県看護連盟の皆様、日頃より温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

国会において、予算委員会委員と厚生労働委員会委員、国会対策委員会副委員長を拝命しました。医療・介護への更なる支援を得られるよう、令和7年度予算の成立や厚生労働政策の実現に向け、尽力して参ります。

本年も看護連盟・看護協会と連携しながら、寄せられたご意見等、国政の場に繋げて参ります。引き続き、国政の場で活動するため、皆様の力強いご支援をお願い申し上げます。

新年のごあいさつ



参議院議員・内閣府大臣政務官
友納 りお

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

この新しい年を、内閣府大臣政務官という新たな職務をいただき迎えています。弁護士は司法、国会議員は立法、政務官は行政に携わるお仕事です。看護職の働く環境を整え、安心して働いていただくために、あらゆる立場でかかわることができることは大変嬉しいことです。政務官としての仕事は、国会議員として作り上げた政策や法律を、今度は実行する立場になります。法律に基づく制度や法律が皆さまのもとに行き渡るように、適切にPDCAサイクルを回しながらより良いものとなるように取り組んでまいります。

看護職の処遇改善、人材確保、働く環境整備、ハラスメント、業務効率化などの看護・医療に関する諸問題には、引き続き、石田まさひろ先生と力を合わせて取り組みます。

看護の現場の声を国政に！初心を忘れず目の前の課題に1つ1つ丁寧に向き合います。本年が皆さまにとってよりよい一年となりますよう祈念致します。





予算委員会にて

石田 まさひろ

国政 報告

和歌山県看護連盟の皆様、日頃より温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

和歌山県内各地をご訪問させていただき、多くの皆様からお話を伺いました。刻々と変化する現場課題を伺う中、人口減少時代に突入した今、「量を守り、質を追求する」ための看護政策の必要性を強く感じました。新しい年を迎え、地域の医療を守り抜き、時代に即した看護政策実現のため更なる邁進を決意し、心を新たにしています。

昨年末に閉会した臨時国会においては、令和6年度補正予算の成立に向け、様々な調整を行っていました。令和6年度補正予算において、厳しい状況に置かれている医療・介護等の現場の実情を訴え、看護関連では物価高対策・賃上げ支援として、病院や訪問看護ステーション、看護師等養成所への補助金などを確保できました。介護関連についても、人材確保・職場環境改善として予算を確保しています。用途は賃金アップのための人件費、看護業務の効率化などへの取り組み支援、ICTの活用、カルテの自動化など、幅広く活用できます。支援は、現場に届いて初めて活かすものになりますので、是非とも活用していただきたいと思います。

引き続き、皆様「今日も良い看護ができた」と実感できる環境づくりのために引き続き尽力して参ります。



ラジオ出演



能登半島地震被災地訪問



介護施設訪問



財務大臣へ緊急申入れ





令和7年 和歌山県看護連盟 新年交流会

前垣内 真由美

令和7年 和歌山県看護連盟主催「新年交流会」が、1月18日ホテルグランヴィアで開催され、各支部から102名の参加があり、盛会に開催されました。

御来賓として、岸本周平和歌山県知事はじめ、石田真敏衆議院議員、世耕弘成衆議院議員、山本大地衆議院議員、鶴保庸介参議院議員が御列席されました。

各議員の挨拶では、日頃からの看護師に対しての感謝の意が表され、NP（診療看護師）など看護師の更なる活躍や地域の医療課題を解決するためには看護政策や法整備が重要であることが述べられました。さらに石田昌宏参議院議員からのビデオメッセージでは、2025年は地域包括システムが完成する目標の年であったこと、数年前には訪問看護ステーションも珍しい時代であったが、今では訪問看護師も往診する医師もずいぶん増えたこと、また介護保険との連携や退院調整も当たり前な時代になったこと、病院入

院では退院後の生活を見据えた対応が進んでおり、地域で暮らす包括的なシステムが近づいていると話され、少し振り返っただけでも「看護は頑張ってきたんだ」と実感できるとメッセージをいただきました。また、今後は2040年に向けた社会システムの計画づくりとして、「看護のビジョン」を掲げ、特定行為研修やタスクシフト、働き方改革の推進、地域医療構想の実現に向けての整備について、看護政策を勤めていきたいとメッセージをいただきました。

交流会では各支部の病院とその地方議員が同じテーブルを囲み交流を深めました。交流で距離も近くなり、現場の問題も相談できました。ビンゴゲームでは各支部の特産品が景品として出され、和歌山県看護連盟新年交流会は盛会のうちに終了しました。





看護学校設立にあたり一番困った事は？



看護教員の確保ですね。中心となる教員を探すのに県内で探すしか方法が無く、教員で責任ある立場となると谷さんしかいない。と周囲から言われて。私でいいのか？という思いがあったが、使命を感じお受けしました。

インタビュアー | 白浜はまゆう病院 副看護部長 小川 龍介

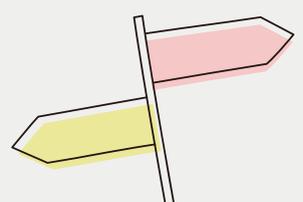


准看から正看への通信教育課程の設立にあたりご苦労されたことは？



苦労よりも、通信教育は、その当時、以前から必要と思っていました。教育の組み立ては、どうすれば良いかは、分かっていたので実現に向け尽力しました。

准看護師を看護師にするために5年という期間限定にすることが重要で、看護協会が主催して准看護師養成課程を行ったことは、有意義でした。その結果、看護協会員も約1,000人あまり増えました。



これから取り組みたいことは？



入院関連機能障害を無くしたいです。看護師が、患者のほんの少しの変化を気付ける事によって、入院で認知症が進んでしまう事は、防げると思うんです。その人がその人らしく入院生活を送れるように。自分自身が入院した体験を踏まえて、「看護の基本」って何？ということ伝えていきたいです。



今の看護師に伝えたいことは？



やりがいをもつ。
この仕事ができる事が幸せなんだと思ってもらいたい。
それをみんなで共感・共有してもらいたいですね。

谷 元会長
その他の活動歴

高野山大学社会福祉学科非常勤講師・7年間
和歌山県看護大学4年制への検討委員会
和歌山市社会福祉障害者自立支援審議委員会
社会福祉法人紀伊の郷日置川みどり園審議委員会

和歌山県看護職員需給対策委員会
和歌山県社会福祉審議会臨時委員

Q&A

つれもてインタビュー 2



元会長 谷 眞子 さん

Profile

谷 元会長の経歴（履歴）

- 昭和 35 年 紀南看護専門学校卒業、紀南病院看護師として勤務
- 昭和 36 年 串本病院看護師として勤務
- 昭和 40 年 紀南看護専門学校教員として就職
- 平成 2 年 和歌山看護専門学校新設のため和歌山県病院協会へ
- 3 年 和歌山県病院協会立看護専門学校 教務主任、その後 副校長
- 13 年 社団法人和歌山県看護協会 会長
- 20 年 和歌山県看護連盟 会長
- 26 年 医療法人裕紫会・良友会 看護部 顧問
- 令和 6 年 医療法人中谷病院グループ（社会福祉法人寿敬会・医療法人良友会を含む） 顧問業務



協会長と連盟会長の両方を務めておられますが、それぞれ一番大変だったことは何ですか？
また大切にされてきた事は何ですか？



会員確保です。
看護協会の場合、その当時 3,000 人だったので、倍の連盟会員数 6,000 人を目標にしました。
看護協会員の必要性を各支部へ直接説明にいきました。
専門職としての誇りをもつことの大切さを伝えて回りました。
看護連盟も同じ。安心して働こうと思える組織を目指し、みんなが連盟に入りたい。と思えるような連盟活動を目標にしました。



ボランティア
活動

和歌山市西浜地域
住民対象健康づくり

高齢者対象とした体操教室
「歩歩の会」の設立と協力



健康を維持されている秘訣は何ですか？



健康作り体操を立ち上げて 5 年になります。ラジオ体操や筋力体操、柔軟体操など月 2 回、約 2 時間程度、地域の人たちと一緒に足腰を鍛えています。一生、看護に関わる仕事をしていきたいと思っています。そのために、何時でも、活動できるように自分自身を鍛えて、体力を温存しております。



**病院アピール
コンテスト** **12月14日(土)**

**Zoom参加
大歓迎!!**

対象者
・看護師を目指す方
・潜在看護師の方
・プラチナナース

都会にレールを牽ける
なら
和歌山に来てもらう
レールも牽ける!

**あなたらしさを
見つけませんか**

都会にはない
働き方をPR!

**看護師
時々
わたし**
和歌山で働く可能性

都会で働きたい人も
いるけど田舎で働きたい人も絶対的!

**あえて田舎
という選択**

会場
和歌山県看護協会研修センター

プログラム
・受付(12:30~)
・開会(13:00~)
・1.病院アピールコンテスト
(就職説明会)
・2.部活動紹介し編演
①看護科×エクストリーム伝書鳥ふし
②和歌山、和歌山県看護協会、和歌山県
看護協会、和歌山県看護協会、和歌山県
看護協会、和歌山県看護協会
③和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
④和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
⑤和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
⑥和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
⑦和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
⑧和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
⑨和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
⑩和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
⑪和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
⑫和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
⑬和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
⑭和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
⑮和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
⑯和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
⑰和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
⑱和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
⑲和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
⑳和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㉑和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㉒和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㉓和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㉔和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㉕和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㉖和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㉗和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㉘和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㉙和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㉚和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㉛和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㉜和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㉝和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㉞和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㉟和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㊱和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㊲和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㊳和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㊴和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㊵和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㊶和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㊷和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㊸和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㊹和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㊺和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㊻和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㊼和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㊽和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㊾和歌山県看護協会、和歌山県看護協会
㊿和歌山県看護協会、和歌山県看護協会



令和6年12月14日(土)、第3回病院アピールコンテストを開催しました。テーマは『看護師 時々 わたし』とワークライフバランスに焦点を当てています。

いわゆる『2025年問題』に言及されるように医療需要の増大や医療技術の高度化、平均在院日数の短縮化に伴い業務は増大・高度化し看護師の需要は大きくなっています。しかしながら今現在、入職者の減少や離職者の増加により全国的に看護師不足が叫ばれているのが現状です。

看護師が定着しない原因は個人のライフイベントや職場の人間関係、給与への不満、重労働への負担感など様々でしょう。しかし、全てに共通する要因として今の働き方が個人の望むワークライフバランスに則していないことが挙げられるのではないのでしょうか。

和歌山県看護連盟 青年部 **金澤 耀司**

活動報告

TOPICS & INFORMATION



『いつも現場目線、 看護の未来へ』

令和6年11月28日(木)、石田昌宏議員が弾丸で関西に来られた機会に、先日の和歌山県看護協会の施設代表者会出席者より当連盟に相談があった「現場の声」を石田議員に直接届け、後日御回答いただきました。

和歌山県看護連盟は看護師の皆さんのために働きます!



日本看護連盟の方々との県別会議

令和6年12月6日(金)、日本看護連盟の方々との県別会議でこれからの連盟活動について話し合いました。会議終了後、役員の方々と忘年会をしました! 来年もみんなで力を合わせて活動します!

広報委員会 活動



「つれもてインタビュー」の第2回は、谷元会長にお話を伺いました。



和歌山県看護協会
東直子会長



看護を考える会
幹事長・濱口議員

「都会で働きたい人もいるけど、 逆に田舎で働きたい人もいる！」

仕事だけでなく休日の過ごし方も含め、和歌山で自分らしく働くことテーマに発表してもらいました。

今回は発表では和歌山県内8病院が各施設の特色や働く環境、福利厚生などを紹介してくださいました。移住者への告知としてCM動画を作成しSNSで広告宣伝いたしました。

会場参加者は約50名で発表者以外に県内の高校生・看護学生・潜在看護師・転職希望者にとどまらず、オンライン参加10名、うち県外からの移住希望の方も5名いらっしゃいました。



NPO法人日ノ岬・アメリカ村
理事・大江亮輔様



YouTuberの宮本遥菜様



特別講演としてNPO法人日ノ岬・アメリカ村理事の大江亮輔様、YouTuberの宮本遥菜様（チャンネル名：和歌山移住オンナ）より、地方でワークライフバランスを充実させながら自分らしく働くことの実例や、田舎暮らしの可能性について、また移住とその後の生活で感じた魅力を紹介して頂きました。和歌山の人も知らないような和歌山の楽しみ方のアドバイスもたくさんレクチャーしていただきました。

和歌山県には都会には無い豊かな自然や文化がたくさんあります。その強みを活かして「和歌山県で働きたい！」と感じてもらい【地方移住×就職】というカタチで看護師確保に繋がっていくことができるのではないのでしょうか。

就職活動の学生や奨学金の選定の参考にしたい方、再就職を考えている方、育休後の働き方について悩んでいる方、ブランチナース世代の方など、看護師以外にも対象となる人は多いので、次回からは看護職だけでなく他職種の団体とも連携し、病院アピールコンテストを盛り上げていきたいと考えています。ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



一刻も早い解決を！



北朝鮮人権侵害問題 拉致被害者救出街頭活動

令和6年12月7日（土）、JR和歌山駅西口での「北朝鮮拉致被害者救出の街頭演説活動」に川村会長・小林支部長・村中委員が参加しました。どう救出するかも問題ですが、まずは日本国民一人一人の意識をあげる事、自分事に考える事が大きい力になると再確認しました。

- 石田 真敏 衆議院議員、山本 大地 衆議院議員、山下 直也 県議会議員、吉井 和視 県議会議員、丹羽 直子 和歌山市議会議員 他多くの方が参加されました。

研修会のご案内

テーマ「医療機関におけるハラスメント」

講師 | 友納 理緒 (参議院議員)

令和7年3月8日(土) 14:00~15:30
和歌山県勤労福祉会館 プラザホープ

対象者 ◆ 看護連盟会員 (非会員可)

テーマ「看護職として生きていくために必要な〇つのこと」

講師 | 近藤 美知子 (日本看護連盟 幹事長)

令和7年3月29日(土) 14:00~15:30
和歌山県勤労福祉会館 プラザホープ

対象者 ◆ 5年目以降の看護職・中間管理職・看護管理者・看護教育者

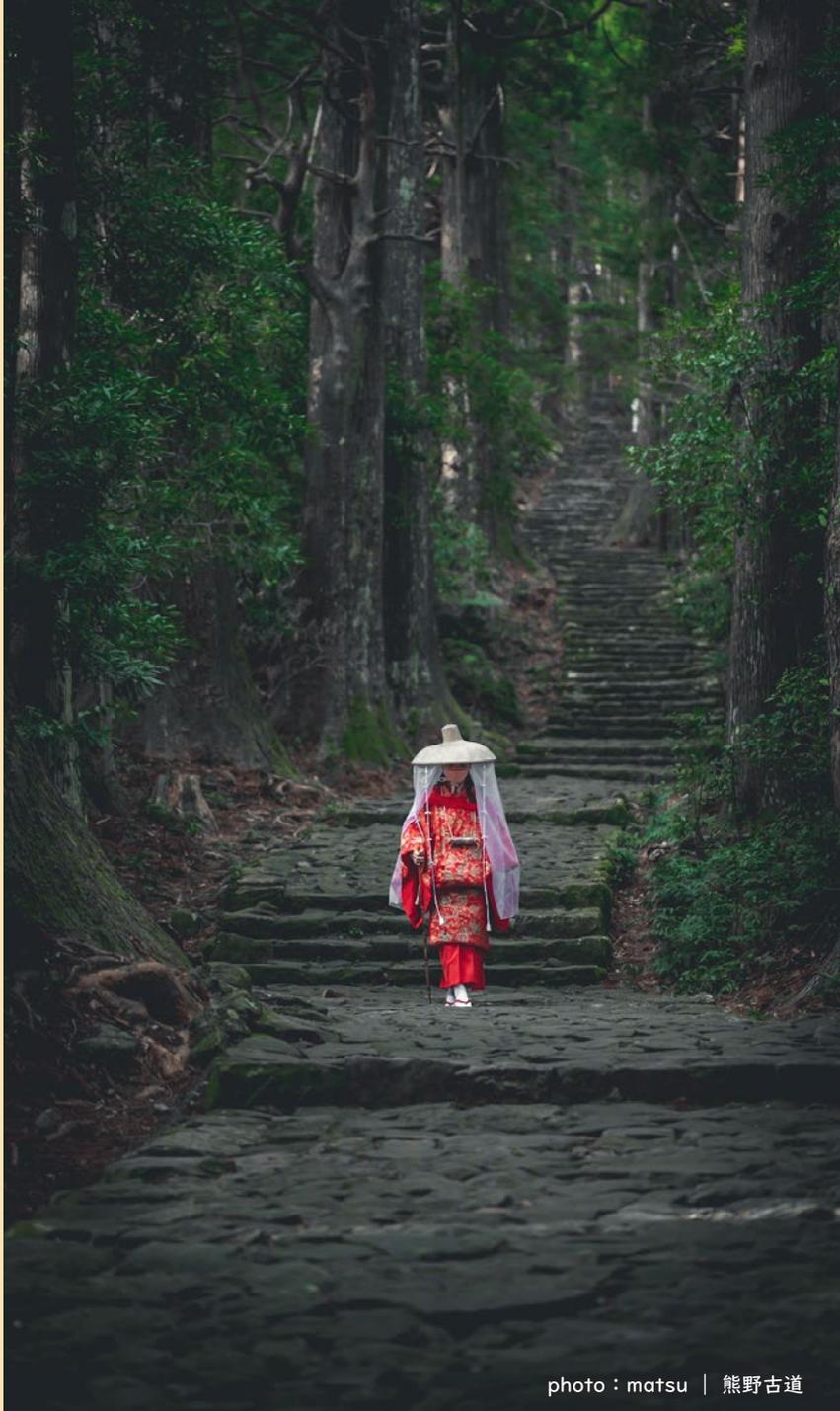
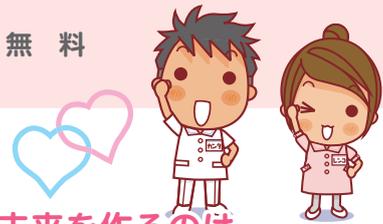


photo : matsu | 熊野古道

2024年度 入会受付中!

正会員	年会費合計 8,000 円	和歌山県看護連盟 年会費 3,000 円	日本看護連盟 年会費 5,000 円
特別会員	年会費 8,000 円	現在、看護協会会員でなくても、正会員の履歴があれば入会できます。	
賛助会員	年会費 1,000 円 (1口)	看護職ではない方で、和歌山県看護連盟の活動に賛同して下さる方	
学生会員	無料		



**看護の未来を作るのは、
会員一人ひとりの力です!**

友人、知人でまだ会員でない方がおられましたら、入会をすすめていただき会員増をめざしましょう。

編集後記

令和7年度新年号は、盛会となった新年交流会を特集し、発行させていただきました。
「令和7年新年交流会」に多くの来賓の皆様、会員の皆様にご出席いただき、誠にありがとうございました。
今年は、参議院議員選挙を控えており、本誌でも看護職の組織代表候補の活動を広めるための広報活動を進めてまいります。

(広報委員一同)

東洋羽毛

睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。
正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

今よりもぐっすり、
幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修
- 学校保健委員会
- メンタルヘルス研修
- 高齢者の睡眠ケア

*他、施設内研修などご相談承ります
(事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です)

睡眠セミナー講師は新型コロナウイルスの感染予防対策(検温・うがい・手指のアルコール消毒・マスク等の着用・受講者とのソーシャルディスタンスの確保等)を行いながらセミナーを実施しています。

◆セミナーに関しましては、二次元バーコードよりお問い合わせください。担当よりご連絡させていただきます。
<https://www.toyoumo.co.jp/seminar>



東洋羽毛関西販売株式会社

和歌山営業所 和歌山県和歌山市吹屋町3-44-2



0120-32-7766